

5 基本目標3 市民が誇れる歴史文化の継承

主に歴史・文化に関する分野で、「歴史文化の保存・活用」、「宮島の歴史や文化とその価値の継承」を施策の柱として、取組を進めていきます。

【令和8年度当初予算の主な事業】

(1) 歴史文化の保存・活用

- 埋蔵文化財の価値の発信（埋蔵文化財発掘調査事業） 216 万円
冠遺跡群などの特徴的な埋蔵文化財の調査を進め、その価値の発信に取り組みます。

(2) 宮島の歴史や文化とその価値の継承

- 宮島の歴史編さん事業の実施（宮島の歴史編さん事業） 689 万 4 千円
宮島の積み重ねた歴史とその価値を守り、正しく継承していくため、体制強化を図りながら、資料調査及び収集資料等のデジタル化に取り組み、「宮島の歴史」を編さんしていきます。

- 公開施設整備に向けた取組（伝統的建造物群保存推進事業） 903 万 7 千円
宮島の伝統的建造物の魅力を伝えるため、伝統的建造物（旧若狭家）の公開施設整備に向け実施設計を行います。

- 伝統的建造物等の修理修景等への支援（伝統的建造物群保存推進事業）
5,135 万円（昨年度：2,801 万 2 千円）
R7→R8 繰越明許費 1,000 万円
伝統的建造物等の修理修景等の経費の一部を補助することにより、歴史的町並みの保存と次代への継承を推進します。

- （仮称）宮島ミュージアム整備に向けた取組（宮島歴史民俗資料館整備事業）
1,212 万 3 千円（昨年度：2,226 万 2 千円）
宮島の歴史文化や産業の歴史を学び、将来に伝える役割を担う「（仮称）宮島ミュージアム」の整備に向けた取組を進めます。